

2025（令和7）年度

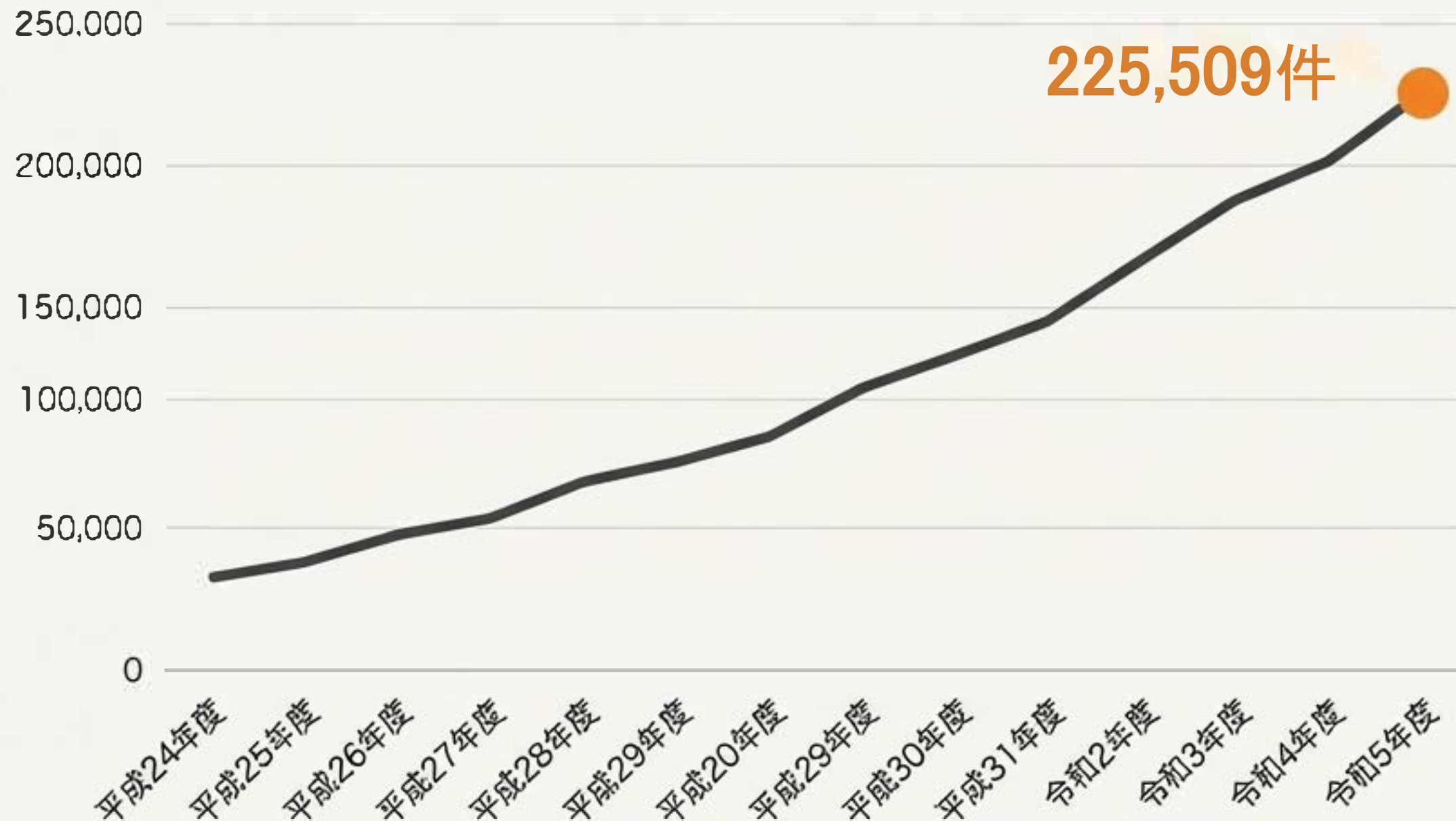


第17回子ども虐待防止
オレンジリボンたすきリレー2025
実施報告書

子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会

子どもたちの未来を脅かす、見過ごせない現実

児童相談所における児童虐待対応件数の推移



児童相談所での虐待対応件数は、統計開始以来、一貫して増加を続けています。令和5年度には過去最多の225,509件を記録。これは、社会全体で取り組むべき喫緊の課題であることを示しています。

数字の裏にある、守れなかった命

65人

2023年（令和5年）、虐待によって尊い命が奪われた子どもの数です。

その多くは0歳児であり、誰にも助けを求めることができませんでした。

4万2千人以上

何らかの理由により保護者と暮らせず、社会的養護のもとにいる子どもの数です。

早期発見と適切な支援、そして何よりも虐待を未然に防ぐ社会の構築が、今、求められています。

ひとつのリボンが、希望のシンボルになるまで



Origin

2004年、栃木県小山市で幼い兄弟が虐待死した痛ましい事件をきっかけに、市民の手で「オレンジリボン運動」が始まりました。

Meaning

オレンジ色は、子どもたちの明るい未来を象徴しています。
このリボンは、「子ども虐待をなくしたい」という社会全体の意思表示です。

Vision

悲劇から生まれたこのシンボルは、今や全国的な活動へと広がり子どもたちを守るための約束の証となっています。

「たすき」に込めた約束。想いを、人から人へ。

The Action

私たちは、子ども虐待防止のメッセージを「たすき」に込め、リレー形式でつなぐ活動を2007年から18年間にわたり続けています。

The Metaphor

一本のたすきは、子どもを守るという私たちの固い決意です。ランナーからランナーと手渡されるたびに、その想いは地域社会へと着実に広がっていきます。

The Goal

このリレーは、単なるイベントではありません。市民の関心を高め、行政や地域団体との連携を深めるための、社会的なムーブメントです。



第17回オレンジリボンたすきリレー2025: 想いをつなぐ道のり



数字で見る、第17回たすきリレーの軌跡



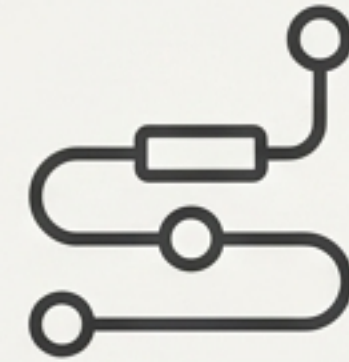
442名

総参加ランナー



4

メインコース
(都心、川崎、湘南、
横須賀・横浜)



24

区間
(セクション数)

コース	参加人数
都心コース：	計 173名
川崎コース (K・多摩KT含む)：	計 86名
湘南コース：	計 103名
横須賀・横浜コース：	計 80名

沿道の声援を力に。それぞれのコース、それぞれの思い。

都心コース



都心コース出発式(港区役所)

川崎コース



川崎コース出発式(白山愛児園)



都心を駆け抜ける



大田区立大森スポーツセンター



想いをつなぐ瞬間



川崎市社協に到着

風景は変わっても、 変わらない一つの願い。

湘南コース



湘南コース、スタート(心泉学園)

横須賀・横浜コース



ヴェルニー公園から出発



エリザベス・サンダース・ホーム



藤沢市内を力走



サンビーチ追浜



横浜市磯子センター

ゴールは、新たな始まりの場所。

横浜グランモール公園に集った、笑顔と学びの輪。



ステージイベント：開会宣言、
ゲストインタビュー、
学生ダンスなど



啓発ブース：NPOや行政機関
による情報提供・相談コー
ナー



ふれあい企画：手作りおもちゃ、
バルーンアートなど



この活動が届けた、最も重要な成果

77.4%

来場者の4人に3人以上が、この日初めて
オレンジリボンを知りました。

ゴール会場で実施した意識アンケートの結果、137名中106名（77.4%）が
「オレンジリボンを今日初めて見た」と回答。たすきリレーが、子ども虐待防止への関心の「最初の入口」として、極めて重要な役割を果たしていることが証明されました。

この想いを支える、多くの力

本活動は、多くの企業、団体、個人の皆様の温かいご支援によって支えられています。心より感謝申し上げます。

(公益財団法人)資生堂こども財団、(一般社団法人)生命保険協会神奈川県協会、(公益財団法人)神奈川新聞厚生文化事業団、ユースキン製薬(株式会社)、西横浜国際総合病院、かながわ子ども虐待予防研究会、神奈川県保険医協会、(株式会社)シーケン、湘南ヤクルト販売(株式会社)、川崎リバティライオンズクラブ、こども家庭庁、東京都、神奈川県、神奈川県警察、横浜市、川崎市、横須賀市、大田区、品川区、港区、茅ヶ崎市、平塚市、藤沢市、大磯町、二宮町、栃木県小山市、全国児童相談所長会、神奈川県教育委員会、(社会福祉法人)東京都社会福祉協議会、(社会福祉法人)神奈川県社会福祉協議会、(社会福祉法人)横浜市社会福祉協議会、(社会福祉法人)川崎市社会福祉協議会、(社会福祉法人)横須賀市社会福祉協議会、神奈川県児童福祉施設協議会、(一般社団法人)横浜ファミリーホーム連絡協議会、川崎市あゆみの会(里親会)、(一般社団法人)こどもみらい横浜(里親会)、(特定非営利活動法人)さくらみらい横浜、(特定非営利活動法人)キーアセット、(公益財団法人)児童育成協会、(公益財団法人)神奈川新聞厚生文化事業団、かながわ子ども虐待予防研究会、神奈川県保険医協会、東京都児童相談センター、品川区児童相談所、東京都社会福祉協議会児童部会、大田区子育て支援課、大田区立大森スポーツセンター、品川区民生委員児童委員協議会、港区役所、港区児童相談所、横須賀市児童相談所、港区立子ども家庭支援センター、横浜市中心児童相談所、横浜市鶴見区役所、横浜市磯子センター、横浜市南区役所、横浜市港南区役所、横浜市民生委員児童委員協議会、横浜市港南中央地域ケアプラザ、西横浜国際総合病院、(協同組合)伊勢佐木町商店街、横浜・イセザキ・モール1・2St、セブン-イレブン横浜浦島町店、セブン-イレブン横浜片吹店、川崎市社会福祉協議会、川崎市南部児童相談所、川崎市あゆみの会、ユースキン製薬(株式会社)、白山愛児園、川崎愛児園、新日本学園、しゃんぐりらベビーホーム、至誠館さくら乳児院、川崎市子ども夢パーク、エリザベス・サンダース・ホーム、心泉学園、鎌倉児童ホーム、幸保愛児園、春光学園、白十字会林間学校、聖園子供の家、サンビーチ追浜、茅ヶ崎市役所、平塚市役所、藤沢市役所 (順不同)

ご協賛、ご協力、ご声援をいただいた全ての皆様に、深く御礼申し上げます。

たすきリレーはゴールを迎えましたが、
子どもたちを守る私たちの約束に、終わりはありません。



子どもに明るい未来を STOP! 子ども虐待

この想いを、未来へ。

あなたの参加が、次の力になる。

子ども虐待防止の輪を、さらに広げるために。



<http://orange-tasuki.net>

1.知る・広める

公式ウェブサイトで活動の詳細を確認し、SNSで情報をシェア。

2. 参加する

次回のたすきリレーに、ランナーやボランティアとして参加。

3. 支援する

活動へのご寄付やご協賛で、運動を支える。

Contact: 子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会

Email: info@crcjapan.net



第 17 回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー2025 実施報告書

発行・編集：子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー実行委員会